

# 新幹線開業に向けた産業振興策について

青森県新幹線開業対策推進本部 産業振興専門委員会

# 新幹線開業に向けた産業振興策について

何が求められるか / 視点

ビジネスチャンス / アイデア / 問題点は？

新幹線開業がもたらす効果  
 ・時間的距離の短縮  
 ・心理的距離の短縮  
 ・輸送力の拡大

交流人口の拡大・増加

・観光客入込数の増加  
 ・滞在可能時間の増加  
 ・取引機会の増加  
 ・情報交流機会の増加  
 ・地域イメージの向上  
 ・県民の行動範囲の拡大  
 ・県民の交流機会の増加  
 ・大手資本の参入  
 ・支店・支社の統合  
 ・消費の流出  
 等

食

地域ブランドの形成  
 ・旅の目的としての「食」の充実  
 ・地域限定  
 ・地元の食材を活かした料理  
 ・地元らしい駅弁  
 ・本場の本物の提供、味力づくり  
 ・健康志向  
 ・既存商品をブラッシュアップし、洗練化



既存のものをどう活かすか

土産買う

・青森ならではの「青森らしさ」にこだわった商品  
 ・地域限定  
 ・気軽に買える場所  
 ・多様なニーズに応えられるラインナップ  
 ・試食ができる  
 ・既存店舗の魅力向上  
 ・戦略的に「ヒット商品」を創り上げる

八戸開業時には、地元の食材や伝統の味を活かし開発した「新商品」が売れ筋上位にランクされた

・地元の食材を活用した「食」の名物づくり  
 ・漫画「美味しんぼ」で紹介された料理を提供  
 ・おいしい青森「一村一食」運動「青森40食の物語」(市町村を代表する「食」の選定とプロモーション、レシピの普及)  
 ・郷土料理の見直し、アレンジ  
 ・共通メニューの開発  
 ・土産品との連動  
 ・定番ものの他に新たな駅弁の開発が必要  
 ・左党の旅の友に酒の肴に的を絞った駅弁  
 ・駅構内での販売は、業者が限られるため、販売箇所について検討が必要  
 ・農・漁家レストランの開設  
 (海彦・山彦、農家のかあさん食堂、漁師のまかない)  
 ・「地酒と郷土料理の夕べ」のようなイベントの実施  
 ・自慢の逸品等料理のお品書きの充実  
 ・日替わりシェフの店  
 (地域の特産品を活用し、各地域の食の名人や農産加工グループ等が日替わりで参加する。)  
 ・巨大アップルパイ  
 ・持続的な取組、関係団体・地域が一体となった取組が必要  
 ・食材等の提供ルートの確立

・一次産品の付加価値を高めるための加工食品の開発(青森の素材を活かし、創意工夫による加工食品の開発)  
 ・「食」と伝統工芸品とのコラボレーションによる商品開発及び販売促進  
 ・一つの品から旅の蘊蓄が語れるような品(既存商品の物語化、物語に合わせた新商品開発)  
 ・日常的に食べているもの、使っているものを商品化  
 ・既存の商品をセットにして新たなネーミングで販売  
 ・統一オリジナルブランドの設定  
 ・駅構内(近隣)、街中商店街での県産品アンテナショップ、産直施設の展開  
 ・観光地等での空き店舗の活用(チャレンジショップ)  
 ・朝市  
 ・「田酒」など幻とされるような地酒等を購入できる仕組み  
 ・地元の人が利用する市場・商店街に観光客を誘導する  
 ・既存店舗の魅力向上

各種情報提供に係る

既証等の実施活用した  
 ・F S 調査  
 ・融資制度  
 ・観光ベンチャー創出事業  
 ・観光店舗モデル診断事業  
 ETC.

八戸開業時  
 新幹線が開業したから儲けてやろうではなく、来県した観光客に、自らの商品やサービスを満足してもらうことを経営理念に掲げている経営者が「勝ち組」に入った。

# 新幹線開業に向けた産業振興策について

地域として、「自分達はこうなんだ」と宣言する。

消費者は、広告よりも、記事に注目し、かつ信頼感を寄せる。徹底的にプレスリリースをして、話題性のある情報発信をする。

## 体験

- ・地元ならではの体験メニューの充実
- ・「ノスタルジー」、「非日常」、「昔の風景」に触れたい
- ・タイムリッチ層にターゲットを絞ったプログラムの構築

効率化や合理化という名の下に捨ててきたモノを逆に拾い集める



- ・多様な着地型の旅行商品の展開
- ・農業・漁業・酪農体験の実施(普段の作業をそのまま体験させる)
- ・リンゴの絵抜き(文字入りリンゴ)作成体験
- ・外観は古くても中身は常に変化し新たな発見を観光客に与える戦略
- ・十和田湖でのカヌー体験
- ・カーリング等ではなかなか体験できないことを簡単に体験できる仕組みづくり
- ・体験観光の窓口整備
- ・質の高い観光案内・ガイドの提供
- ・地元タクシー会社・バス会社との連携による旅行商品化

## 宿泊

- ・少人数による旅行の増加への対応
- ・青森らしさの提供
- ・ビジネス客、観光客への対応の区別
- ・コンベンション誘致
- ・体験メニューとの組合せによる宿泊しなければならないような仕組み作り
- ・チェーンホテルの進出に対する地元ホテル・旅館の取組



- ・ハード整備(少人数対応、風呂、バリアフリー化)
- ・ソフト整備(高級化、こだわり指向、三世帯型旅行への対応)
- ・手荷物の運送サービス
- ・健康づくりメニュー、プチ湯治
- ・農家を古民家として再生し、宿泊施設にする。
- ・農家民泊の推進
- ・宿泊業者と体験型観光事業者との連携強化
- ・地元飲食店組合と旅館組合の連携による泊食分離への対応
- ・温泉街等での朝市開催
- ・郷土料理店や地元ならではの料理を提供する居酒屋等の紹介、割引クーポンの発行
- ・観光案内機能の充実
- ・共同での送迎バスの運行
- ・地域で連携して、「昔語り」や「三味線ライブ」を実施
- ・大学等との連携によるコンベンションの誘致

# 新幹線開業に向けた産業振興策について

## サービス

- ・お得感、割安感が感じられる仕組み
- ・魅力ある商店街
- ・ビジネス客への対応
- ・既存サービス事業者の「つなげる」機能の充実
- ・カルチャーも不可欠



- ・商店街で購入した土産品の宿泊施設への無料配送
- ・飲食店等地元情報(着地型)の発信
- ・観光客・ビジネス客に特化したフリーペーパーの創刊(割引クーポンの発行)
- ・携帯電話による情報提供サービス
- ・観光版マイレージシステム(青森観光マイレージ)
- ・スタンプラリー
- ・レンタカー利用者を観光地、施設に立ち寄らせるための優待サービスの拡充
- ・街中観光に対応したレンタサイクルの整備
- ・非日常的な乗り物の導入(人力車、ペロタクシー、馬車)
- ・観光ホットラインセンター・コールセンターの設置

## 交通

- ・新幹線駅からの2次交通の充実
- ・レンタカー利用者への対応
- ・高齢者や身体障害者向けの移動手段の提供
- ・列車・バス等の運行状況や道路情報の提供システムの整備・充実



- ・新幹線駅からの2次交通の充実(バス・乗合タクシー)
- ・新幹線駅からの観光タクシールート設定
- ・定期・周遊観光バスの運行
- ・青森港からの航路の活用(下北、浅虫方面)
- ・観光タクシーの充実(コース設定、大型車、高級車の導入、乗務員の案内力レベルアップ、認定制度の導入)
- ・福祉車両を活用した観光タクシー運行
- ・列車、バス共通のフリーパスの発行
- ・レンタカー窓口での割引クーポン付きの観光パンフレットの配付